

陽射しの中のぢゅし



バイトからの帰り道。
隣のおばさ…HNSさんから連絡が入った。



ぢゆしちゃん、か…。



俺が知ってるのはあまり喋らない子である事…

交通整備員のコスプレ (?)

をしている事と…



「ただいまー」



回想

『この子一度寝たら
全然起きないのよね～
なまらウける～WWW』

zzzz...

「なにやってんすか(汗)」

……眠りが深い事、ぐら이었다

(寝てる...)

ゴクツ

生唾を飲み込む



パチツ 俺は電気を付けた

「…ぢゆしちちゃんただいまー
お菓子あるけど食べる？」

「すーっ…すーっ…」

反応はない

…スカートめくるぐらいならバレないか…?



「おつと大変だー
虫か何かogaスカート入ったから取るよ」

おおー…
これがぢゆしちやんのパンツ…
普通に女の子らしいの履いてるな



……うっ、くっそエロいな……

でもこれ以上はマズイよなあ



と思いつつ……！

と思いながらも俺はパンツをズリ下げていた

「すーっ……すーっ……」

これだけされてもぢゅしぢゅんは
静かな寝息を立てるだけだった



……パシヤ

スマホで写真を撮る。これをオナネタに——

……する必要は、あるのか？

目の前に本物が居るのに



全部……全部みてやる

本人すら知らない所を……

そう考えながら秘所に手を伸ばす……



くぱあ♡

「あつ処女膜……」

ぢゅしちやん、処女なんだな……

くぱあ♡

知り合いの女の子が処女である事を
一方的に知ってしまった



指ぐらいだつたら…
おっ入つた

「あつ…たけえー…」

くちゅ♡

くちゅ♡

チンポどころか、何も挿れて
ないであろう穴に指を突っ込む



ぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅ
指をおもつきりかき回す

手マンなんてした事なかつたから
やり方は無茶苦茶だつた

んッ

ぐちゅ
ぐちゅ

ぐちゅ
ぐちゅ

ぐちゅ

ぐちゅ

ぐちゅ

ぐちゅ

ぐちゅ

起きるかもしれない
そんな事を気にしてる余裕は
俺には無くなっていた

ぐぽっ♡

っ、愛液で溢れ…

ふー…♡

はぁっ…♡

手マンしたとは言え
処女膜付きの子供マンコが
ここまで濡れるとは…

トロキ

ぐぽっ♡



再度指を入れると

腔内に有った白濁に近い愛液が溢れだした

ここに挿入れたらどれだけ気持ちいいか……!!

んっ♡

ぐちゃっ♡

ジューツ!慌ててチャツクを下した

バキバキに勃起したチンポを

急ぎ込みながら取り出す



なるべく刺激を与えない様に服を脱がせる

「……ぢゅしちやーん

ゴク……ここ、これから処女膜、破つちやうから
ダメならダメって言うてねー……」

すり♡

すり♡

ん……

軽いノリで喋るが、声は震えていた

「すーっ……すーっ……」

返事は、無かった



「んっ…おまんこ…」

はぁ…ん♡

「んっ…」

んっ

んっ

んっ



「あっ！」

「おう……おお……っ」

は……入った

あッ

とろとろの愛液と
締め付けが射精を促してくる
子供なのに、身体は
孕む為の機能をちゃんと持ってる



その事実に興奮してしまい、
チンポが更に固くなるのが分かった

グググググ...

んっ...んっ

ふっ

「ごめんぢゅしちやん
動くよ...っ」

ググググ...



ゆっくりと動き始める

「お、おっっっっっ♡」

んあぁぁぁぁぁ♡

あぁん♡

ずるるるるる♡

チンポを引くと
吸い付いて来る……!!



「はあっ…はあっ…」

膣内に…出すつもりはなかった
興奮して思わず膣内出ししてしまった…

とろちんー♡

「やっべえ…
母さん達が帰ってきてくるまでに片付けないと…」



パシヤ

…記念に一枚

ガチヤガサガサツ

「ただいまー」
「ヤツホー、HNSさんが遊びに来たよー」
!?



ちよ……やべ、と、取りあえずパンツ履かせて……

「は……はい！お帰りー！」

ま、まず足止め……しねえと……！
ドタドタドタ……

「……」



「ぢゅしー迎えに来たよー」

（あああああああ、やべえどうしよ
まだパンツしか穿かせてねえと
言うか精液膣にのこったままだふああふじこ）

「つてまだ寝てるしww
この子ずつとこのままだった？」

…えっ？俺、パンツまでしか履かせてなかつたよな
……もしかして途中で、起きて…？



